

大空 (生徒・保護者向け) 6号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和2年5月11日(月)

困難の先により良いあなたがいる(5月8日3年学年集会での話)

□本日の概要

- ヤマトタケルは自分の言葉によって滅びた。
マイナス言葉を口にしてはいけない。
- マイナスの感情(辛い、悲しい)という思いは時には吐き出すことが大切だ。信頼できる人に率直に話して欲しい。
- 自分の辛さを一度吐き出し、前向きな言葉で新たなスタートを切って欲しい。困難の先により良いあなたがいる。

□前向きな言葉の重要性

3年生の皆さんに会うのは今日が初めてです。皆さんも放送を通じてしか私のことを知らないと思います。今日は学年集会で話す時間をいただきました。今日は、高校総体の中止という辛いニュースを伝えなければなりませんでしたが、それでも、皆さんに前向きな気持ちを持ってもらいたいと思い、今日は話をします。

私は、始業式の時、前向きな言葉を使おうという話をしました。人間の脳は言葉に支配されているといっても過言ではありません。人間と動物の違い、それは言語の有無です。人間が人間であるのは、言葉を使えるからです。今回の高校総体の中止、また、長期化が予想されている新型コロナという試練の中、これからの皆さんを支えるのは前向きな言葉なのです。

□ヤマトタケルは誰が滅ぼしたのか

ところで、皆さんは日本武尊(ヤマトタケルノミコト)という日本古代史上の伝説的英雄のことを知っていますか。(古事記では主に倭建命、日本書紀では日本武尊と表記されています。)

『古事記』の中巻にこんな場面があります。伊吹山の神を討ち取りに出かけたヤマトタケルが白猪に遭います。ヤマトタケルは、「これは神の使者であろう。今は殺さず帰る時に殺そう」と、自分の思いを口に出すのです。これを「言挙げ(ことあげ)」といいます。

様々な国々を平定したヤマトタケルですが、自信が慢心になったのかもしれませんが。ヤマトタケルが「殺す」という言葉を投げつけた白猪は、実は神の化身で、ヤマトタケルは神の怒りを買って、神は大氷雨を降し、ヤマトタケルは全身が衰弱し、病となり、死に至ります。

このような神話や昔話には大切なメッセージが込められています。ヤマトタケルは、日本中を平定したスーパーヒーローです。無敵のヤマトタケルを滅ぼしたのは、白猪に姿を変えた神様ということになっていますが、本当に伝えたいことは、ヤマトタケルは「自分の言葉」によって滅びたということなのです。

この神話が、古代から伝えられてきたのは、言葉の持つ力、言葉が時には人を変え、人を滅ぼす力を持つものであるということを知恵として知っていたからです。言霊(ことだま)という言葉聞いたことがある人もいるでしょう。日本人は、言葉に宿る霊的な力を知っていたのです。そして、ヤマトタケルは、「殺す」というマイナス言葉を相手に投げかけてしまい、その結果、自分が死に至ったのです。

□マイナスの感情は時には吐き出す

矛盾するように聞こえるかもしれませんが、「マイナスの感情は時には吐き出す」ことも必要です。マイナス言葉とマイナス感情は違いが

分かりにくいのですが、マイナスの感情とは、「私は悲しい、辛い、苦しい、泣きたい」というものです。そのような感情は、時には素直に吐き出し、誰かに聞いてもらうことが重要です。

マイナスの感情を吐き出すといっても、何でも言っただけという訳ではありません。もし誰か個人を対象にしたマイナス感情は、それは悪口になってしまいますので、これは言うべきではないでしょう。誰かに対する憎しみや怒りではなく、他者と悲しみを共有することに意義があるのです。

私の例でいうと、一番悲しいことは、恐らく愛する肉親や生徒・職員に何か不幸があることであり、生徒や職員が悲しんでいること、元気がないことが私にとって悲しく、辛いことです。そういう時、私は葛藤します。公の立場としては、私は校長先生です。いつも生徒や職員を激励し、頑張れという立場ですので、全体の場ではそのような話をします。私的に悲しいことがあっても、自分の感情を抑え、理性的に職務を遂行しなければならないとも思っています。でも、そのような立場を越えて、悲しい時には悲しいと思うこともあります。泣きたい時もあります。そんなとき、信頼できる誰かに、自分の気持ちを聞いてもらうことは、私だけであるのです。

だから、今日は、自分の気持ちを率直にいいます。

私は、皆さんが、皆さんが悲しんでいること、苦しんでいることが、大変辛い。本当に辛い。皆さんに、言葉をかけるだけで、状況を変えることができない自分に対し、腹立たしく、情けなく、ふがいなく思っています。

皆さんも、自分の気持ちを信頼できる人に率直に話してください。マイナスの感情をため込むのではなく、一度吐き出してもいいのです。

□困難の先により良いあなたがいる

しかし、一度吐き出したら、引きずらないでください。マイナス感情を吐き出し続けても、現状は変わりません。一度吐き出し、前向きな

言葉で、新たなスタートを切って欲しいと思います。

前述のように、言葉は人を変える力があります。ラグビー日本代表のヘッドコーチだったエディ・ジョーンズ氏は、「スポーツの役割は良き市民であること。日本人は危機に向き合ってきた歴史があり、タフである。強大な敵を倒すには戦略が必要だが、短期的には日々の努力で勝利を積み重ねるしかない。自宅で過ごす時間が増えた今、これは大きなチャンスである。この時間を有意義に過ごすか、無為に過ごすかで大きく変わる。有意義に過ごせば、危機を経て、より良くなれる。危機の先に、より良いあなたがいるかもしれない。すべての人に与えられたチャンスだ」と語っていました。今、この危機を、自分を変えるチャンスだと捉えるエディ・ジョーンズの考え方に私は共感します。そして、エディのように前向きな言葉を口にしていると、自分の行動が実際に変容するのです。私も、今の状況に愚痴を言うのではなく、今の状況で何ができるかを考えています。できなくなったことは多いですが、できることはあります。知恵を出して、皆さんの高校生活を充実させたい、そう私は考えています。

□新たな決意

ヤマトタケルはマイナス言葉による「言挙げ」のために滅びましたが、前向きな言葉を口にすることは、神に対する契約、つまり決意表明です。「神頼み」というと無責任な感じがしますが、本来、神に祈ることは、無責任ではなく、自分の決意を神に示し、契約をすることなのです。

辛い気持ちは、いったん吐き出し、改めて新たな決意をしてください。今、自分が何を為すべきか、自分の言葉で考えてください。

希望ある未来は、受動的な態度の延長ではなく、私達の様々な努力の先にあります。皆さんが努力することを、私たちは全力で支援します。頑張ってください。